

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名：インサル基礎防蟻ジョイントハード専用プライマー  
推奨用途及び使用上の制限：ジョイントハード専用プライマー  
輸入総販売元：株式会社 エービーシー商会  
住所：東京都千代田区永田町2-12-14  
担当部門：インサル事業部  
電話番号：0120-011-462  
FAX番号：03-3581-4946

整理番号：JHP-0001

作成 2023年8月1日

## 2. 危険有害性の要約

### 【GHS 分類】

引火性液体：区分2  
急性毒性（経口）：区分外  
急性毒性（経皮）：区分外  
急性毒性（吸入）：（気体）分類対象外  
（蒸気）区分4  
（粉じん又はミスト）分類できない  
皮膚腐食性／刺激性：区分2  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分2  
呼吸器感作性：分類できない  
皮膚感作性：区分外  
生殖細胞変異原性：区分外  
発がん性：区分外  
生殖毒性：区分1  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分1（吸入・全身、中枢神経系）  
区分3（気道刺激性、麻酔作用）  
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分1（吸入・肺、中枢神経系、末梢神経系、  
腎臓、肝臓）  
誤えん有害性：分類できない  
水生環境有害性（急性）：区分2  
水生環境有害性（慢性）：区分3  
オゾン層への有害性：分類できない

### 【GHS ラベル要素】



注意喚起語：危険

危険有害性：情報引火性の高い液体及び蒸気  
吸入すると有害のおそれ  
皮膚刺激

重篤な目への刺激  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
器官の損傷(中枢神経系)  
呼吸刺激性を起こすおそれ、または昏睡および目眩を起こすおそれ  
長期または反復ばく露による器官の損傷(中枢神経系、末梢神経系、腎臓、肝臓)  
長期または反復ばく露による器官の損傷のおそれ(血液)  
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に毒性あり

注意書き すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
容器を密閉しておくこと。  
熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざけること。  
火花を発生しない工具を使用すること。  
粉塵・煙・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。  
保護手袋を着用すること。  
目に入った場合は、水で数分間洗うこと。  
目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。  
取り扱い後はよく洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
気分が悪いときは医師の診断・手当てを受けること。  
飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
環境への放出をさけること。  
涼しい所・換気の良い場所で保管すること。  
施錠して保管すること。  
廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

---

### 3. 物 質 の 特 定

---

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：ブチルゴム・クロロプレンゴム混合物系接着剤

成分及び含有量：ブチルゴム、クロロプレンゴム、無機充填剤、軟化剤、粘着付与剤等

成 分 (化 学 名)	含有量 %	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
トルエン	20-30	108-88-3	3-2
n-ヘキサン	20-30	110-54-3	2-6
工業ガソリン	20-30	64742-73-0	9-1694
メチルエチルケトン	2-7	78-93-3	2-542

労働安全衛生法・化学物質管理促進(PRTR)法該当成分については、「15. 適用法令」を参照下さい。

---

#### 4. 応 急 措 置

---

##### 応急措置の記述

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用 していて 容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 水で口をよく洗い、ただちに医師の診断を受ける。 無理に吐き出させないようにする。

---

#### 5. 火 災 時 の 措 置

---

##### 消火剤

適切な消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、噴霧水等。
使ってはならない消火剤	棒状注水
消火を行う者への勧告	
特有の危険有害性	火災時には危険有害性の燃焼ガス又は蒸気が発生する 可能性がある。 極めて燃え易い：熱、火花、火災で容易に発火する。
特定の消火方法及び消火 を行う者の保護	可燃物を火災現場から隔離し、各種消火剤を使用して、 風上から消火する。 消火作業の際は、適切な保護衣を着用する。

---

#### 6. 漏 出 時 の 措 置

---

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	作業の際には必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れる ことを防止する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 漏出した場所の周囲に関係者以外の立ち入りを禁止する。 風上に留まる。低地から離れる。 立入る前に密閉された場所を換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材	少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って 密閉できる空容器に回収する。 吸収したものを集めるとき、きれいな帯電防止工具を用いる。 多量の場合は、液体漏洩物の前方にせきを作り、後で廃棄する。
二次災害の防止	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁 止）。

---

## 7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

---

- |     |   |
|-----|---|
| 取扱い | 電気機材は防爆構造にする。<br>周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。<br>容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。                                       |
| 保管  | 接触・吸入の恐れがある場合は保護具を使用する。<br>直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。<br>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。<br>その他消防法、労働安全衛生法などの法令に定めるところに従う。 |
- 

## 8. ば く 露 防 止 措 置

---

管理濃度：20ppm(トルエン)、40ppm(n-ヘキサン)、200ppm(メチルエチルケトン)

許容濃度

日本産衛学会	：	50ppm(トルエン)、40ppm(n-ヘキサン)
	：	200ppm(メチルエチルケトン)
ACGIH	：	TLV-TWA 20ppm(トルエン)、50ppm(n-ヘキサン)
	：	200ppm(メチルエチルケトン)

設備対策：局所排気装置などの換気のための設備を設置する。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。

保護具

呼吸器の保護具	：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	：	適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具	：	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	：	適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策	：	取り扱い後はよく手を洗うこと。

---

## 9. 物 理 / 化 学 的 性 質

---

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	：	液体
色	：	黒色
臭い	：	特長的な臭気
融点/凝固点	：	データなし
沸点又は初留点	：	86℃
可燃性	：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	：	データなし
引火点	：	-17.7℃(タダ密閉式)
自然発火点	：	データなし
分解温度	：	データなし
pH	：	測定できない
動粘性率	：	データなし
溶解度	：	水に難溶
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	約0.9(20℃)

---

## 10. 安 定 性 及 び 反 応 性

---

反応性、化学的安定性

通常の取り扱いにおいては安定である。

危険有害反応可能性

強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件

加熱

混触危険物質

酸化剤

危険有害な分解生成物

知見なし

---

## 11. 有 害 性 情 報

---

急性毒性（経口）	： 区分外
急性毒性（経皮）	： 区分外
急性毒性（吸入）	： （気体）分類対象外 （蒸気）区分 4 （粉じん又はミスト）分類できない
皮膚刺激・腐食性	： 区分2
眼損傷性・眼刺激性	： 区分2
呼吸器感作性	： 分類できない
皮膚感作性	： 区分外
生殖細胞変異原性	： 区分外
発がん性	： 区分外
生殖毒性	： 区分1
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	： 区分1（吸入・全身、中枢神経系） 区分3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	： 区分1 （吸入・肺、中枢神経系、末梢神経系、腎臓、肝臓）
誤えん有害性	： 分類できない

---

## 12. 環 境 影 響 情 報

---

生態毒性	： 水生生物に毒性（区分2）
残留性・分解性	： 知見なし
生物蓄積性	： 知見なし
土壤中の移動度	： 知見なし
オゾン層への有害性	： 知見なし

---

### 13. 廃棄上の注意

---

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

### 14. 輸送上の注意

---

容器に内容物の漏れがないことを確認し、転倒、落下、損傷のない様に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
溶剤を含有しているので火気厳禁。  
輸送に際しては、関連法規の定めるところに従うこと。

容器等級：2  
指針番号：128  
国連番号：1133  
国連分類：3

---

### 15. 適用法令

---

労働安全衛生法：表示対象物質：トルエン、ヘキサン、メチルエチルケトン、  
カーボンブラック(1～10%)、シクロヘキサン(1～10%)  
通知対象物質：トルエン、ヘキサン、メチルエチルケトン、  
カーボンブラック、シクロヘキサン、酸化亜鉛(1%未満)、  
2、6-ジ-ターシャリーブチル-4-クレゾール(1%未満)  
危険物：引火性の物  
有機則：第2種有機溶剤  
毒物劇物取締法劇物：トルエン、メチルエチルケトン  
消防法：第4類第1石油類(非水溶性液体)  
大気汚染防止法有害大気汚染物質：トルエン、ヘキサン、メチルエチルケトン  
PRTR法：第1種指定化学物質  
(管理番号300、政令番号1-347)トルエン(23%)、  
(管理番号392、政令番号1-436)n-ヘキサン(24%)  
その他：知見なし

---

### 16. その他

---

参考文献：JIS Z 7252：2019 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
JIS Z 7253：2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—  
ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)  
化学物質総合情報提供システム((独)製品評価技術基盤機構)  
安全衛生情報センター(ウェブサイト)(中央労働災害防止協会)  
製品安全データシート作成指針(改訂2版)(日本化学工業協会)  
弊社社内資料等

すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。  
また新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、出展などをよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。

なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。  
また注意事項は、通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合にはこの点にご配慮をお願いします。

JIS Z 7252 : 2019 及び JIS Z 7253 : 2019 に準拠して作成しています。